

実務マスター型(ジェネラリスト研修)

所属・役職は2024年3月現在

①対人支援の基盤を学ぶコース(A-1-1)

共通基礎研修 単元		共通基礎研修 各単元の研修課題		研修講師	講義時間
1	国家資格としての公認心理師	①	国家資格としての公認心理師	村瀬 嘉代子(公認心理師試験研修センター、顧問 大正大学、名誉・客員教授)	83分
2	人の権利と尊厳	②	基本的人権の尊重と今日的課題	岩佐 嘉彦(日本子ども虐待防止学会理事長、弁護士)	60分
		③	人々の権利を守る社会制度の仕組み	増沢 高(子どもの虹情報研修センター、研究部長) 高橋 温(NPO法人子どもセンターてんぼ理事長、 弁護士) 畑山 麗衣(NPO法人Giving Tree、 ピアカウンセラー)	48分
3	法と倫理	④	生命倫理	香川 知晶 (山梨大学、名誉教授)	67分
		⑤	人間のこころにひそむもの	森岡 正芳(立命館大学、教授)	60分
		⑥	法制度と職業倫理のジレンマの中で	古村 健(国立病院機構東尾張病院、心理療法士)	61分
4	人間の発達と成長	⑦	いのちの誕生	永田 雅子(名古屋大学、教授)	54分
		⑧	脳とこころの発達	黒田 公美(東京工業大学 生命理工学院、教授)	58分
		⑨	人間のライフ・サイクルと心理社会的成長	遠藤 利彦(東京大学、教授)	105分
		⑩	老いと死	神田橋 宏治(としま昭和病院、医師)	59分
5	人間の理解を考える	⑪	人間の理解、人間存在の理解	神庭 重信(九州大学、名誉教授) 島藺 進(東京大学、名誉教授)	68分
		⑫	心理的支援の現場における実践的なアセスメント	熊上 崇(和光大学、教授) 橋本 忠行(香川大学、教授)	105分
		⑬	公認心理師としての自己理解と職能的発達	岩壁 茂 (立命館大学、教授)	57分
6	対人援助における多職種連携と協働	⑭	多職種連携・協働の理念	中尾 智博(九州大学、教授) 石隈 利紀(東京成徳大学、教授)	74分
		⑮	連携・協働に必要な実践力 ①情報共有するための事例の記録と報告	増沢 高(子どもの虹情報研修センター、研究部長) 橋本 和明(国際医療福祉大学、教授)	60分
		⑯	連携・協働に必要な実践力 ②連携・協働するためのコミュニケーション ・相互コンサルテーション	三宅 美樹(株式会社トヨタ車体研究所) 田村 節子(東京成徳大学、教授)	95分
7	家族・生活とこころ	⑰	家族	神谷 哲司(東北大学、教授)	60分
		⑱	生活の営みとこころ	増沢 高(子どもの虹情報研修センター、研究部長) 松永 忠(社会福祉法人別府光の園、統括施設長) 国分 美希(社会福祉法人至誠学舎立川 至誠大空の家、施設長)	73分
		⑲	家族像とアイデンティティ	神谷 哲司(東北大学、教授) 松永 忠(社会福祉法人別府光の園、統括施設長) 国分 美希(社会福祉法人至誠学舎立川 至誠大空の家、施設長)	55分
8	社会・経済とこころ	⑳	産業(経済)とこころ	千本 倅生(株式会社レノバ、名誉会長)	53分
		㉑	現代社会とキャリア	下村 英雄(独立行政法人労働政策研究・研修機構 職業構造・職業指導部門、 副統括研究員)	64分
		㉒	社会集団・組織と心身の健康	山口 裕幸(九州大学、教授)	61分
9	文化とこころ	㉓	文化における普遍性と多様性	長谷川 眞理子(総合研究大学院大学、前学長) 外山 みどり(学習院大学、名誉教授) 波平 恵美子(お茶の水女子大学、名誉教授)	107分
		㉔	心理的支援の実践における文化	江口 重幸(東京武蔵野病院、名誉副院長)	62分
		㉕	マイノリティの文化と心理的支援	加賀美 常美代(目白大学、教授) 熊谷 晋一郎(東京大学、准教授) 葛西 真記子(鳴門教育大学、教授)	104分
		㉖	文化間移動のこころへの影響	徳永 智子(筑波大学、准教授)	68分
10	身体とこころ	㉗	身体とこころ	黒木 俊秀(九州大学、教授) 熊野 宏昭(早稲田大学、教授) 兼本 浩祐(愛知医科大学、教授)	82分
		㉘	こころの病とこころの健康を考える	黒木 俊秀(九州大学、教授) 山下 洋(九州大学病院、特任准教授) 杉山 登志郎(福井大学、客員教授)	120分

②心理的支援の諸課題を学ぶコース(A-1-2)

5分野横断的な基本的課題 単元		5分野横断的な基本的課題 各単元の研修課題		研修講師	講義時間
導入	人々の生活を支える礎となるもの	導入	人々の暮らしを支える礎となるもの ー法と医療の視点からー	安倍嘉人(元東京高等裁判所、長官) 神庭 重信(九州大学、名誉教授) 村瀬嘉代子(公認心理師試験研修センター、顧問 大正大学、名誉・客員教授)	67分
1	心理専門家の責任、 クライアントの責任	①	心理専門家の責任とクライアントの責任	森田 美弥子(名古屋大学、名誉教授)	58分
		②	障害と罪の有責性を考える	安保 千秋(都大路法律事務所、弁護士)	63分
2	事実を探求する	③	事実への接近	金矢 拓(四季の風総合法律事務所城南オフィス、弁護士)	60分
		④	さまざまな分野における事実の取り扱い	神庭 重信(九州大学、名誉教授) 黒木 俊秀(九州大学、教授) 増沢 高(子どもの虹情報研修センター、研究部長) 石隈 利紀(東京成徳大学、教授) 橋本 和明(国際医療福祉大学、教授) 金井 篤子(名古屋大学、教授)	67分
		⑤	心理的支援の実践と研究成果:科学的根拠	岩壁 茂(立命館大学、教授)	58分
3	自分にとって大切なことを 知ること、伝えること、共有すること	⑥	インフォームド・コンセントと協働による意志決定	田中 康雄(こころとそだちのクリニックむすびめ、医師)	60分
		⑦	生命と存在に関わる真実告知	久保田 馨(日本医科大学、教授) 柘植 あづみ(明治学院大学、副学長・教授) 山田 勝美(山梨県立大学、教授)	166分
4	病いと障害を考える	⑧	病気・障害とこころ	黒木 俊秀(九州大学、教授)	45分
		⑨	重い病気の子ども:障害とこころ	藤野 陽生(大阪大学、准教授)	69分
		⑩	神経発達症・障害とこころ	井上 雅彦(鳥取大学、教授) 黒田 美保(田園調布学園大学、教授)	99分
5	現代社会の問題と支援Ⅰ 自らを傷つけること	⑪	自傷について	松本 俊彦(国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所、薬物依存研究部部長 (兼任)薬物依存症センター、センター長)	61分
		⑫	自殺(自死)について	新井 肇(関西外国語大学、教授)	57分
6	現代社会の問題と支援Ⅱ 他者を傷つけること	⑬	暴力や加害の背景にあるもの	藤岡 淳子(大阪大学、名誉教授)	56分
		⑭	虐待、DV、いじめ、ハラスメント ー弱者への暴力を考えるー	中村 正(立命館大学、教授)	75分
		⑮	暴力の世代間伝達	野坂 祐子(大阪大学、教授)	58分
7	現代社会の問題と支援Ⅲ 危機と支援	⑯	危機への理解と支援	窪田 由紀(九州産業大学、科研費特任研究員)	58分
		⑰	危機対応におけるコミュニケーション	平井 啓(大阪大学、准教授)	59分
		⑱	災害における危機対応	河嶋 譲(厚生労働省委託事業DPAT事務局次長、医師) 大澤 智子(兵庫県こころのケアセンター、上席研究主幹)	76分
8	現代社会の問題と支援Ⅳ 医療化・心理学化	⑲	医療化／心理化とメンタルヘルスケアの社会化	石原 孝二(東京大学、教授)	78分
		⑳	こころの病とこころの薬	黒木 俊秀(九州大学、教授)	55分
9	現代社会の問題と支援Ⅴ 高齢化・認知症	㉑	認知症の理解と支援	繁田 雅弘(東京慈恵医科大学、主任教授)	50分
		㉒	高齢者・その支援者を共に支える	繁田 雅弘(東京慈恵医科大学、主任教授)	52分
10	現代社会の問題と支援Ⅵ 貧困・孤立・不登校 ・社会的ひきこもり	㉓	貧困の理解	松本 伊智朗(北海道大学、名誉教授)	92分
		㉔	不登校と社会的ひきこもり	伊藤 美奈子(奈良女子大学、教授) 斎藤 環(筑波大学、教授)	86分
11	内省的実践	㉕	日々の実践を振り返る	増沢 高(子どもの虹情報研修センター、研究部長)	53分
		㉖	スーパービジョンにおける学び方	橋本 和明(国際医療福祉大学、教授) 谷 麻衣子(愛知県医療療育総合センター中央病院、主任) 鈴木 隆文(児童心理治療施設名古屋市くすのき学園、 心理士) 今枝 美幸(金城学院大学、助教) 近藤 隆夫(帝塚山大学、教授・元家裁調査官) 水島 秀聡(小島プレス工業株式会社、課長)	62分
		㉗	ケースカンファレンスにおける学び方	川瀬 正裕(金城学院大学、教授)	65分

実務マスター型(ジェネラリスト研修)

所属・役職は2024年10月現在

③ 5分野実務(前期)コース(A-1-3)

5分野の実務における基本的課題 単元		5分野の実務における基本的課題 各単元の研修課題	研修講師	講義時間
1	保健医療分野の実務における基本的課題	① 我が国の保健医療制度の現状と課題	吉川 隆博(東海大学、教授)	48分
		② チーム医療とリーダーシップ	畠山 卓也(高知県立大学、准教授) 古村 健(名古屋市立大学大学院、准教授)	99分
		③ 一般身体科領域における公認心理師への期待	服巻 豊(広島大学、教授)	100分
		④ 生活習慣と未病状態への支援	神田橋 宏治(としま昭和病院、医師) 竹中 晃二(早稲田大学、名誉教授)	64分
		⑤ 保健医療分野におけるトラウマインフォームドケア	大岡 由佳(武庫川女子大学、准教授)	64分
2	福祉分野の実務における基本的課題	① 生活と心理臨床	滝川 一廣(あなはクリニック、医師)	62分
		② 福祉領域における権利擁護と法制度	高橋 温(新横浜法律事務所、弁護士) 丹野 傑史(長野大学、教授) 加藤 伸司(東北福祉大学、教授)	104分
		③ 多職種協働による支援と心理職の役割	薬師寺 真(倉敷児童相談所、所長) 下山 真衣(信州大学、准教授) 加藤 伸司(東北福祉大学、教授)	108分
		④ 子育て支援と心理職の役割	八木 安理子(同志社大学、客員教授)	33分
		⑤ 障害のある当事者、家族、支援者への支援と心理職の役割	田熊 立(千葉県発達障害者支援センターCAS、副所長)	40分
3	教育分野の実務における基本的課題	① 教育の現状と動向	仲村 健二(文部科学省児童生徒課生徒指導室、室長) 石隈 利紀(東京成徳大学、特任教授)	73分
		② 学校組織とチーム学校の理解	山口 豊一(聖徳大学、教授) 石川 悦子(こども教育宝仙大学、教授)	85分
		③ 子どもの問題と心理教育的援助サービスのモデル	新井 雅(跡見学園女子大学、教授) 大石 幸二(立教大学、教授)	83分
		④ 家庭や地域の問題と心理教育的援助サービス	水野 治久(大阪教育大学、教授) 野田 正人(立命館大学、名誉教授)	73分
		⑤ 子ども、学校組織・風土、環境のアセスメント	半田 一郎(子育てカウンセリング リソースポート) 小野 純平(法政大学、教授)	73分
4	司法・犯罪分野の実務における基本的課題	導入 司法における人間へのまなざし	廣瀬 健二(元東京高等裁判所、判事)	50分
		① 司法・犯罪関連施設における生活と関係性の治療的意味	村瀬 嘉代子(公認心理師試験研修センター、顧問 大正大学、名誉・客員教授) 富田 拓(北海道家庭学校樹下庵診療所・ 網走刑務所医務課、医師)	89分
		② 司法・犯罪分野における特有の感情の理解	門本 泉(大正大学、教授)	69分
		③ 公的支援と民間支援のシームレス連携	犬塚 貴浩(大阪刑務所、法務教官) 谷 真如(内閣府内閣サイバーセキュリティセンター、 参事官補佐) 野村 和孝(北里大学、准教授) 浅見 祐香(目白大学、専任講師) 嶋田 洋徳(早稲田大学、教授)	96分
		④ 反省や内省を促す心理職の関わり	石川 隆行(宇都宮大学共同教育学部、准教授) 門本 泉(大正大学、教授)	69分
		⑤ 加害者支援と犯罪被害者支援	寺田 孝(川越少年刑務所、法務教官) 齋藤 梓(上智大学総合人間科学部、准教授)	110分
5	産業・労働分野の実務における基本的課題	① キャリアサイクル理論 ー新入社員のリアリティ・ショックー	道谷 里英(順天堂大学、前任准教授)	55分
		② 組織論 ー若手社員のうつ反応ー	佐藤 恵美(メンタルサポート&コンサル沖縄、代表)	71分
		③ 組織マネジメント論 ー部長職による人材育成ー	佐倉 健史(さんぎょうい株式会社メンタルヘルス・ ソリューション事業室、室長)	68分
		④ リーダーシップ論 ー女性研究職の登用ー	大庭 さよ(メンタルサポート&コンサル東京、代表)	56分
		⑤ 多職種連携 ー関連職種との連携ー	高野 知樹(神田東クリニック、院長)	55分

実務マスター型(ジェネラリスト研修)

所属・役職は2025年3月現在

④ 5分野実務(後期)コース(A-1-4)

5分野の実務における基本的課題 単元		5分野の実務における基本的課題 各単元の研修課題		研修講師	講義時間
1	保健医療分野の実務における基本的課題	⑥	精神科急性期病棟における多職種連携	三井 督子(京都大学大学院医学研究科 助教) 草地 仁史(日本精神科看護協会 業務執行理事) 黒木 俊秀(中村学園大学、特命教授)	57分
		⑦	リスクアセスメントとクライシスプラン	古村 健(名古屋市立大学大学院、准教授) 野村 照幸(新潟医療福祉大学、教授) 黒木 俊秀(中村学園大学、特命教授)	89分
		⑧	地域在宅医療における公認心理師への期待	若林 英樹(三重大学、教授) 神田橋 宏治(としま昭和病院 医師) 黒木 俊秀(中村学園大学、特命教授)	85分
		⑨	医療従事者の虐待対応とその後 ーTICの視点からー	毎原 敏郎(兵庫県立尼崎総合医療センター、医師) 大岡 由佳((武庫川女子大学 准教授) 黒木 俊秀(中村学園大学、特命教授)	129分
		⑩	こころとからだの境界域 :慢性一次性疼痛の臨床	黒木 俊秀(中村学園大学、特命教授) 杉山 登志郎(福井大学、客員教授)	80分
2	福祉分野の実務における基本的課題	⑥	児童虐待対応の流れと心理職の役割	薬師寺 真(倉敷児童相談所、所長)	45分
		⑦	社会的養護を必要とするこどもの支援と心理職の 役割1:小学校年齢児	藤原 誠(子どもの虹情報研修センター、研修課長)	66分
		⑧	社会的養護を必要とするこどもの支援と心理職の 役割2:思春期・青年期	増沢 高(子どもの虹情報研修センター、研究部長)	57分
		⑨	高齢者支援における高齢者と家族に対する 心理的支援の実際	加藤 伸司(東北福祉大学、教授)	65分
		⑩	強度行動障害の理解と支援の実際	高橋 潔(鉄道弘済会、理事)	47分
3	教育分野の実務における基本的課題	⑥	教職員へのコンサルテーション・ コーディネーション	谷島 弘仁(文教大学、教授) 小野瀬 雅人(聖徳大学、教授) 小林 朋子(静岡大学、教授)	103分
		⑦	チーム学校へのコンサルテーション	家近 早苗(東京福祉大学、教授) 西山 久子(福岡教育大学、教授)	60分
		⑧	保護者、地域との連携	大河原 美以(大河原美以心理療法研究室) 田村 節子(元東京成徳大学、教授 スクールセーフ ティネット・リサーチセンター、代表理事)	90分
		⑨	子ども(当事者)とのパートナーシップ	水野 治久(大阪教育大学、教授) 池田 美樹(桜美林大学、准教授) 小栗 貴弘(跡見学園女子大学、教授)	107分
		⑩	教育分野における課題と公認心理師の役割	石隈 利紀(東京成徳大学、教授) 家近 早苗(東京福祉大学、教授) 水野 治久(大阪教育大学、教授) 半田 一郎(子育てカウンセリング リソースポート) 大石 幸二(立教大学、教授)	101分
4	司法・犯罪分野の実務における基本的課題	⑥	逸脱行動の背景にある愛着の課題や発達の 課題の理解	富田 拓(北海道家庭学校樹下庵診療所・ 網走刑務所医務課、医師) 野坂 祐子(大阪大学、教授) 田中 康雄(ミネルバ病院、医師)	86分
		⑦	家庭内紛争の中にいる子どもの心理	安保 千秋(都大路法律事務所、弁護士) 熊上 崇(和光大学、教授)	90分
		⑧	司法関係者等との有効な連携を図るための アセスメントと関わり	寺村 堅志(常磐大学、教授) 仲 真紀子(理化学研究所、理事 立命館大学、教授)	95分
		⑨	医療観察法と公認心理師の役割	古村 健(名古屋市立大学大学院、准教授) 西中 宏吏(早稲田大学、助教)	107分
		⑩	依存症の理解と対応	松本 俊彦(国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所、薬物依存研究部部長 (兼任)薬物依存症センター、センター長)	85分
5	産業・労働分野の実務における基本的課題	⑥	外部EAP論 ー若手の退職事例ー	田中 勝男(公認会計士田中勝男事務所、 公認会計士・臨床心理士)	62分
		⑦	産業精神保健論	高野 知樹(神田東クリニック、院長)	60分
		⑧	復職支援(リワーク)	三宅 美樹(トヨタ車体研究所)	60分
		⑨	雇用に関わる法とルール ー労働法と就業規則の枠組を知るー	小島 健一(鳥飼総合法律事務所、弁護士) 三宅 美樹(トヨタ車体研究所)	96分
		⑩	多様性の時代の雇用 ー雇用における多様性を考える。人権、倫理、公正 との関連からー	白木 三秀(早稲田大学、名誉教授)	51分